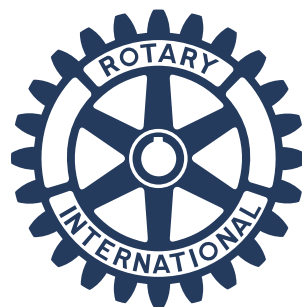


東京江北ロータリークラブ

60周年記念誌



—— 明日に向かって ——

CONTENTS

創立 60 周年記念式典の様子.....	2
東京江北ロータリークラブについて.....	6
ご挨拶 会長 小林 光夫.....	8
祝辞 地区ガバナー 新本 博司.....	10
祝辞 東分区ガバナー補佐 嶋村 文男.....	12
事業報告 実行委員長 樽澤 忠正.....	14
第1部 60周年記念式典／60周年記念事業.....	17
第2部 東京江北ロータリークラブ 60年の歩み.....	29
第3部 クラブとしての RC 活動.....	109
第4部 諸資料・諸記録.....	121
第5部 会員プロフィール.....	143
私の職業 新入会員編.....	210
編集後記 記念誌部会長 張替 俊光.....	229



東京江北ロータリークラブ 60周年記念式典
2020.6.18.

創立 60 周年記念式典



挨拶 小林光夫会長



実行委員長挨拶 樽澤忠正実行委員長



祝辞 新本博司ガバナー



贈呈式 米山奨学会より感謝状授与



贈呈式 ローター財団より感謝状授与



贈呈式 比国育英会バギオ基金へ寄付贈呈



永年在籍会員表彰式 代表 佐藤保壽元会長



乾杯ご発声 鈴木敏男元会長



閉会 石鍋元章元会長



永年在籍会員代表挨拶 佐藤保壽元会長



祝賀会司会 村上正明会員



ロータリーソング ソングリーダー 張替俊光会員



点鐘 会員テーブル



乾杯 会員テーブル



祝賀会終了後



創立 60 周年記念式典



会員交歓



■ 認証状



■ クラブの輪郭

創 立	昭和 35 年（1960 年）3 月 17 日
スポンサークラブ	東京東ロータリークラブ
初 代 会 長	鈴木 又右衛門
ガ バ ナ ー	柏原 孫左右衛門
特 別 代 表	那波 光正
国際ロータリー正式加盟承認	昭和 35 年 6 月 7 日
認 証 状 伝 達 式	昭和 35 年 6 月 28 日
例 会 日 時	毎週木曜日 12：30 ～ 13：30 （昭和 41 年 1 月より第 4 例会日に限り 18：00 ～ 19：00 であった夜間例会は、平成 17 年 7 月から廃止）
例 会 会 場	上野精養軒（東京都台東区上野公園 4 - 58）
事 務 所	〒 130 - 0013 東京都墨田区錦糸 1 - 1 - 5 A ビル 6F TEL：03 - 5637 - 4602 FAX：03 - 5637 - 4611 E-mail：kohoku@club.email.ne.jp HP アドレス：http://tokyo-kohoku-rc.org

■ クラブ事務所の推移

創立当時は井関農機株式会社内に、その後、スタンダード製靴株式会社・中央信用金庫・東京味噌会館を経て昭和 48 年 9 月に東京都墨田区江東橋 4 - 24 - 8 エスケービル 5F に移転し、東分区に属する複数クラブの共同事務所とした。その後、平成 18 年 7 月から現在の A ビル内に移転した。

その間、当クラブの活動の蔭の力となって活躍したのは次の事務員諸嬢である。

大島 八重子	創立以来～ 1960 年 7 月
浦林 次子	1960 年 7 月～ 1964 年 9 月
深沢 睦子（旧姓大岩）	1964 年 9 月～ 1969 年 10 月
塙 玲子	1969 年 10 月～ 1973 年 9 月
木山 万規子	1973 年 9 月～ 2011 年 6 月
見城 かおる	2011 年 7 月～現在に至る

■ バナーについて

現在のバナーは葛飾北斎の円熟期の作品「富嶽三十六景」の一図で、千住から富士山を望んだ景に基づく。

前面の建物は、当時町内に立ち並んだ40軒ほどの旅籠屋の家並みである。千住町は江戸時代の始めから日光道中、水戸・佐倉道の初宿駅として定められ、常に街道を往来する旅人や宿泊客で賑わった町である。特に参勤交代の大名や日光東照宮に参詣する役人の行列などが通行する時は一段と混雑した。

この千住の町は当クラブのテリトリーにあり、現在に至るも東京東北部の拠点として繁栄を続けている。

1. 設立時（日本列島に松と帆かけ船）



2. 昭和41年（1966年）6月 （銀地に名前だけ）



3. 昭和53年（1978年）11月（現在の北斎の富士）



Greetings

ご挨拶



国際ロータリー第 2580 地区
東京江北ロータリークラブ

会長 **小林 光夫**

当クラブの創立 60 周年に当たりご挨拶申し上げます。

当クラブは 1960 年（昭和 35 年）3 月 17 日に、東京東ロータリークラブを親クラブと致しまして、21 名の会員の下、国際ロータリーから承認され設立されました。

それから 60 年の間、社会・経済情勢の変化、また世界的な激動があった中、諸先輩方の誠に強いロータリー精神のもとに、わが東京江北ロータリークラブの歴史と伝統とが育まれて参りました。

60 年の記念すべき節目の時に、このことに私どもは深く感謝申し上げますと共に、次世代に引き継いでいくことが私どもの使命と思います。

60 周年の記念例会を開催するにあたり、誰もが予想もしなかったコロナウィルス感染症が全世界に蔓延し、日本も免れることができず、政府による緊急事態宣言が発令され自宅待機の自粛生活が始まりました。当クラブの例会は休会を余儀なくされました。

コロナ問題は現在も続いており、治療薬やワクチンができるまで根本的な解決は見込めず、長期化が懸念されている中、緊急事態宣言が解除され、例会を再開することができました。

休会中もソーシャルディスタンスを保ち理事会、記念例会実行委員会をここ上野精養軒、インターネット会議など利用して開催し、創立 60 周年記念例会を実行することを念頭に計画をいたしておりました。

創立 60 周年記念例会は、異例の開催環境ではありましたが、年度内に開催することができたことで私自身もホッとしております。

ここに改めましてクラブ創立 60 周年記念例会実施に当たり、この様なコロナ禍の中、開



催に向け、ご尽力いただきました実行委員会各位、関係各位に感謝申し上げます

東京江北ロータリークラブの永年継続している奉仕活動として、アメリカ・カリフォルニア州の Walnut Creek ロータリークラブとの両クラブ間において 54 年にわたり継続している夏期交換学生プログラムがあります。両クラブの会員子弟を一名毎、夏期の間、交換学生としてお預かりし異文化交流体験を経験してもらう事業であり、本年度は今年の 7 月に実施することができました。

米山記念奨学生基金には、当クラブとして、もっとも力を入れているものであり会員個人としても又クラブとしても長年にわたり寄付を続けております。本年度も一名の米山奨学生をホストクラブとして受け入れております。

創立 60 周年の年度に当たり行った、記念奉仕事業の一部をご案内させていただきます。昨年の 10 月に都立南花畑特別支援学校、隣接する足立区立花畑第一小学校の子供たちに、「音楽を楽しもう」というテーマで行政の垣根を超え、クラシックコンサートを実施しました。コンサートのプログラム中に、2 校の児童の皆さんから各校の校歌を歌う場面があり、両校の児童の歌声が、2 校を称えるエールに聴こえて、感動を覚えました。

1 月には足立区立鹿浜五色桜小学校へ出向き児童との交流を図りました。

5 月には足立区医師会に対してフェイスシールド 5000 枚を東京足立ロータリークラブと連携して寄贈いたしました。

クラブ内の 60 周年記念行事としては昨年 9 月に親睦行事を軽井沢にて行い、本年の 2 月 20 日には西新井大師総持寺光明殿において創立 50 周年以降の物故会員 13 名を対象に物故会員追悼法要を行いました。

大変残念ですが、物故会員追悼法要の後 5 月に当クラブの理事であり、創立 60 周年記念例会実行委員会の部会長をお勤めになった谷中会員がご逝去されました。改めまして、謹んでご冥福をお祈りする次第です。

最後となりましたが私たち東京江北ロータリークラブは 60 年の歩みに深く感謝し、これからの更なる発展を誓い、新たな一步を踏み出して参ります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



Congratulations

祝 辞



国際ロータリー第 2580 地区
那覇ロータリークラブ

地区ガバナー **新本 博司**

みなさん、こんにちは。ご紹介をいただきました国際ロータリー第 2580 地区ガバナー新本博司でございます。よろしくお願いたします。

本日は東京江北ロータリークラブの 60 周年記念例会そして祝賀会、本当におめでとうございます。

心よりお慶び申し上げます。3月に 60 周年記念祝賀会をされるということで案内を受けましたが、新型コロナウイルスの影響により延期となり、私の年度も来週で終わりますけれども、もう開催は無理かなと思っております。

したら、小林会長から開催決定の案内を頂戴し、任期中に参加できるということが大変うれしく思って、馳せ参じてまいりました。

私は沖縄という場所から来るものですから、今コロナの影響で飛行機の便も半分以下になり、なかなか飛行機も飛んでおりません。ようやくチケットを得て、こちらに参りました。これも素晴らしい縁がつながっているんじゃないかと思っております。

東京江北ロータリークラブからガバナーとなられた鈴木喬さん。私が指名を受けたのも鈴木指名委員長のもとで 4 年前でした。これもまた縁でガバナーになれたということでございますので、やっぱり御クラブとは大変縁があるな、と今更ながらではありますが、みなさまに感謝申し上げたいと思います。

最初に、地区のガバナーとしてやるべきこと「公式訪問」が 7 月から始まりましたけれども、公式訪問に参加して感じたのは、先輩方が大変素晴らしく後輩を指導されている。若手と中堅と先輩方とのコンビネーションがしっかりされていて「なるほど、60 年も経つロータリーというのは素晴らしい関係が構築されているんだな」というふうに思いまして、佐藤さんをはじめ歴代の先輩方、そういう関係が、このように 60 周年という月日を



積み重ねてこられたんだなと思います。

そして、小林会長のリーダーシップ、どうしても祝賀会をやりたいという思いが、天に通じたんじゃないかなというふうに思います。私も地区大会では大変みなさんにお世話になりました。コロナで（沖縄は）観光客がひとりも入らずに、国際通りは猫だけが通る、という状況になりましたが、こちらに来られたのも皆さんの念力が通じたからであり、感謝申し上げたいと思います。

来月からはガバナーではありませんが、もう少しお時間をお借りして、みなさんとのつながりをこれからも繋げていければ、と考えております。首里城の消失が去年の3月30日にありました。全国のロータリアンからぜひ協力したいということでありまして、その話をしましたら御クラブのみなさんからのお力がものすごく大きかったのですが、トータルで3,200万円の寄付がございました。これもロータリーの素晴らしいつながりなのではないかと思います。感謝を申し上げたいと思います。

ロータリーのつながりというのは本当に素晴らしい。ロータリーでなければ味わえないことがいっぱいある。そして、今日もこの場にお呼びいただいたこともロータリーでないとつながりがありません。先輩方が培ってこられた「温故知新」が東京江北ロータリークラブには根付いておられてほかクラブの見本になっているというのが大変うれしいです。「温故知新」は、これからもロータリーを繋いでいくためには大変重要ではないかというふうに思っております。

そして、今日このように素晴らしい会合を開けているということは、今後このコロナに負けずに、また、コロナがあつてこそ、人のつながりが大事だなあということを改めて認識しております。

やはり、ロータリーが何をすれば、これからも継続していけるかということについては、人のつながりを大切にすることが大事なのではないかと思います。

そして、不易流行の部分でいえば、変えてはならないロータリーをしっかりと持ちながら、時代の変化に対応できる組織になっていけば、本当にロータリーというものが素晴らしいものだということが、お互い確認できるんじゃないかと思います。

今日、この60周年が、先輩方が築かれたその伝統を、これからも守っていただいて、先輩方に感謝を申し上げて、そしてこれからの新しい世界をどのようにつなげていくかということを一っしょに考えていく機会であればうれしいな、というふうに思います。

ガバナー就任前の準備期間から任期中もみなさんにお世話になったことに感謝申し上げ、そして60周年という記念すべき素晴らしい例会がこれからの新しいスタートになりますことを、そして、みなさんが素晴らしい人生を歩まれることを祈念申し上げて、私の挨拶に代えさせていただきます。

これまでのみなさまのご協力に心から感謝を申し上げて、そしてみなさんのご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げて、挨拶に代えます。本当にありがとうございました。おめでとうございます。



Congratulations

祝 辞



国際ロータリー第 2580 地区
東京東江戸川ロータリークラブ

東分区ガバナー補佐

嶋村 文男

みなさま、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、東京江北ロータリークラブの担当をさせていただきました、東京東江戸川ロータリークラブの嶋村文男（しまむら ふみお）でございます。

本日は東京江北ロータリークラブ様、創立 60 周年誠におめでとうございます。このような素晴らしい席に 新本ガバナーとともにご招待いただいたことを大変うれしく、感激

をいたしているところでございます。

さきほど最年長であります佐藤保壽大先輩からの素晴らしいご挨拶の中で会員増強のお話しがございました。聞くところによりますと、わが東分区も今年度 30 名の退会が予想されているとのことでございますので、70 クラブでございますから、各クラブ 2 名ずつでいきますと大体 140 名、現在 3,000 名をちょっと切っておりますので 2,850 名ぐらいが 6 月末。そして新本ガバナーから野生司ガバナーに移る、ということが予想されている状況でございます。

ただ、数を求めるのではなく、質を高める、ロータリーのすばらしさを伝え、みんなで手を取り合って頑張ろうというお話しをいただいたんですけども、それができているのが、この東京江北ロータリークラブ様だということを何度なくガバナー補佐として訪問させていただいて強く感じている次第でございます。また、今回の 60 周年記念式典においては小林会長、羅山幹事、樽澤実行委員長のもと、さまざまに大変な状況の中で今回ができた、強く思っております。

さきほど小林会長、自らお話しございましたが、フェイスシールドのお話し、みなさまご



存知だと思いますが、羅山幹事の会社で一生懸命つくっていただいて2580地区で最初に贈呈式を行っていただいたということで、担当をさせていただいている私も誇らしい思いでございます。

これも実は、小林会長とは年齢も近いということもございまして、よくLINEやメッセージなどで話すんですけども会長が忙しい中、自ら医師会、また役所に行きまして、そして、また足立ロータリーにも声をかけたりそういうリーダーシップのもと、支え合っただけでこのような素晴らしいプロジェクトができたんだと強く思っております。

まだまだ60周年でございますが、これから先が素晴らしい江北ロータリークラブだと思います。小林会長の今年度のテーマは「60周年を学び、親睦を深めよう」というふうに、当初から小林会長、羅山幹事で気合いが入っております。

今回実行委員会が各部門で動いた中で親睦を深める。親睦とはただ単に楽しむだけでなく目標に向かって連帯感を持つ、フェロシップです。これが実践できた東京江北ロータリークラブ様は、これから若いメンバーさんもたくさんいらっしゃると思いますので、わが地区の中心になるような方が育っていくの

だと、強く思っているところでございます。私も2年後ガバナーという職を仰せつかるわけでございますので、佐藤先輩、ぜひ私がガバナー公式訪問のときにもお元気でご出席いただきたいと思います。私の挨拶とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。



事業報告



東京江北ロータリークラブ
創立60周年記念例会

実行委員長

樽澤 忠正

私ども東京江北ロータリークラブは、去る2020年3月17日に創立以来60周年を迎えましたが、このめでたき日を迎える事が出来たのは、当クラブ諸先輩会員の努力もさること乍ら、歴代ガバナー、ガバナー補佐をはじめ、各クラブの皆さま方のご指導、ご鞭撻のおかげと深く感謝申し上げる次第です。

この度の創立60周年記念例会を迎えるにあたり、私どもは小林会長の掲げられた本年度の活動テーマ「60周年を学び、親睦を深めよう」に則り、3つの記念事業を企画し取り組みました。

第一に、今日の東京江北ロータリークラブの基礎を築き固めてくださった当クラブの先輩の方々に礼をつくしたい、この思いから前回の創立50周年記念例会以降に逝去された物故会員の皆さまに畏敬の念を捧げ、去る2月20日に西新井大師総持寺光明殿におきまして濱野堅真貫首台下の下、ご遺族にご出席頂き物故会員追悼法要をとり行わせて頂きました。

第二に、日頃よりお世話になっております地域、地元の皆様に何かの形でお役に立ちたい、その気持ちをどの様な形で表したら良いのかと考えた末に、社会奉仕事業としまして昨年10月8日に足立区立花畑第一小学校と東京都立南花畑特別支援学校の生徒、教職員の皆さまにお集まりいただき、特別授業として「音楽を楽しもう」という交流コンサートを開催しました。未来を担う子供たちに音楽を通じて“明日への希望や夢”を感じてもらいたいという願いを込めてこの事業を実施しました。



そして、第三に会員相互の親睦を深める目的で、新・旧軽井沢ゴルフ倶楽部を会場として一泊二日の親睦ゴルフ会と懇親会を開催し、多くの会員の参加の下とても楽しい時間を過ごしてまいりました。

1960年に初代会長の鈴木又右衛門氏と同志の皆さまが、ここ上野精養軒にて米国からの文化であるロータリークラブを創設しました。クラブの黎明期における先人たちの異文化を吸収する気迫はどこにあったのか。その前年には第一回目の東京オリンピック誘致に成功し、世界各国から大勢の人をお迎えしようという気構えだったのでしょいか。私たちには想像も出来ませんが、幸い、その気骨ある精神は今も私共のクラブに有形無形に残っており、それこそが私たちが誇れる伝統美だと思う次第です。

関係各位の皆さまには、今後とも、これまで以上に厳しいご指導、ご鞭撻と、温かいご支援をお願い致しまして、私の事業報告とさせていただきます。